



令和7年5月16日

名取市議会

議長 長南 良彦 様

総務消防常任委員会

委員長 菊地 忍



総務消防常任委員会調査報告書

本委員会において継続調査とした調査事項について、一部調査を終了しましたので、会議規則第100条の規定により、別添のとおり報告をいたします。

令和 7 年 度

総務消防常任委員会

調 査 報 告 書

令和 7 年 5 月

総務消防常任委員会

委員会調査日程

開催日時	場 所	出席委員	欠席委員	説明のため出席した者
令和6年3月21日(木) 自 午後1時58分 至 午後2時31分	第1委員会室	寺嶋雅子委員 外6名	なし	なし
令和6年4月26日(金) 自 午前9時59分 至 午前10時14分	第1委員会室	寺嶋雅子委員 外5名	大泉徳子 委員	なし
令和6年5月27日(月) 自 午後1時28分 至 午後2時40分	第4委員会室	寺嶋雅子委員 外6名	なし	企画部長 外3名
令和6年7月2日(火) 自 午前9時57分 至 午前10時36分	第1委員会室	寺嶋雅子委員 外6名	なし	なし
令和6年8月23日(金) 自 午前10時 至 午前11時18分	第2委員会室	寺嶋雅子委員 外6名	なし	企画部長 外3名
令和6年9月20日(金) 自 午前11時40分 至 午前11時43分	第1委員会室	寺嶋雅子委員 外6名	なし	なし
令和6年10月25日(金) 自 午後1時27分 至 午後2時45分	第4委員会室	寺嶋雅子委員 外6名	なし	消防長 外6名
令和6年12月20日(金) 自 午後1時 至 午後1時52分	第4委員会室	寺嶋雅子委員 外6名	なし	総務部長 外2名
令和7年1月30日(木) 自 午前9時58分 至 午前10時59分	第4委員会室	寺嶋雅子委員 外6名	なし	選挙管理委 員会事務局 長 外1名
令和7年3月14日(金) 自 午後3時19分 至 午後3時42分	第1委員会室	寺嶋雅子委員 外6名	なし	なし
令和7年4月16日(水) 自 午前9時57分 至 午前10時32分	第4委員会室	寺嶋雅子委員 外6名	なし	なし
令和7年5月16日(金) 自 午前9時58分 至 午前10時6分	第4委員会室	寺嶋雅子委員 外6名	なし	なし

総務消防常任委員会調査報告書

令和6年2月28日付で申し出ました閉会中の継続調査の事件について、次のとおり報告をいたします。

1 閉会中の継続調査事件

- (1) 地域公共交通
- (2) D X 推進
- (3) 移住・定住の促進
- (4) 自治会振興
- (5) 消防団の活性化
- (6) 投票率の向上

2 委員会調査経過

開催期日	調査内容
令和6年3月21日	○調査項目及び令和6年度管外行政調査及び研修について
令和6年4月26日	○令和6年度 年間活動計画について
令和6年5月27日	○所管事務調査 ・名取市D X 推進ロードマップ（地域版）の概要について
令和6年7月2日	○管外行政調査及び研修について（事前勉強）
令和6年7月9日 ～7月11日	○管外行政調査及び研修 7/9 地域担当職員制度について、 地域コミュニティについて（愛知県知多市） 7/10 選挙手帳、投票済証について、期日前投票における各種取組について（愛知県蒲郡市） 7/11 マイレポはんだの概要と災害時の活用について（愛知県半田市）

開 催 期 日	調 査 内 容
令和 6 年 8 月 23 日	○所管事務調査 ・ 移住・定住の促進について
令和 6 年 9 月 20 日	○令和 6 年度 年間活動計画の変更について
令和 6 年 10 月 25 日	○所管事務調査 ・ 消防団の活性化について
令和 6 年 12 月 20 日	○所管事務調査 ・ 地域公共交通（なとりんくる）について
令和 7 年 1 月 30 日	○所管事務調査 ・ 投票率の向上について
令和 7 年 3 月 14 日	○令和 7 年度年間活動計画について
令和 7 年 4 月 16 日	○報告書案の検討について
令和 7 年 5 月 16 日	○報告書案の検討について

3 調査事項の検討結果

(1) 地域公共交通

本市では「快適な暮らしと未来を支える 交通ネットワーク都市 なとり」を目指すべき将来像に掲げ、デマンド交通の導入に取り組んでいる。しかしながら、変容する社会情勢や環境問題に対応するため、高齢者の移動手段確保やゼロカーボン達成に向けた環境負荷低減などが求められており、公共交通が果たす役割への期待が高まっている。

執行部からは、地域公共交通（なとりんくる）の利用状況や予約の在り方、障がい者の利用人数、利用者からの声により見直すべきことについて説明を受け、状況等を確認した。

委員からは「はなもも教室等を指定乗降場所に追加すべき」などの意見があった。

なお、地域公共交通については、地域公共交通会議を開催し可能な限り地域からの要望等に対応していることから調査を終了すること

とした。

(2) DX推進

本市では「デジタル技術を活用し、多様な主体と共に誰もが豊かに暮らせる社会の実現」に向け、DX推進ロードマップを策定し取り組んでいる。

執行部からは、スマートストアの利用について、デジタル地域通貨「なとりコイン」について、ポータルアプリ「ナトぼた」について事業概要や事業の進捗状況、今後の課題や展望などの説明を受け、状況等を確認した。

委員からは「ナトぼたの中のアプリは何に使えるものなのか表示したほうが良い」「デジタルデバイドの解消にもっと力を入れて取り組むべき」などの意見があった。

スマートストアについては、実証実験の継続中であり、買い物困難地域への支援につながることを今後期待することとした。

なとりコインについては、5割増しのプレミアム事業や加盟店決済用端末導入補助金が令和6年度補正予算に計上されるなど、利用促進が期待されること。

ナトぼたについては、アプリを見やすく、わかりやすくする改善が図られたこと。

以上のことから、調査を終了することとした。

(3) 移住・定住の促進

本市では「愛されるふるさと なとり～共に創る 未来へつなぐ～」を将来像に掲げ、第六次長期総合計画を策定し取り組んでいる。計画においては、令和12年度の目標人口を85,000人とし少子化対策や移住・定住の促進などの施策に取り組んでいるが、中間年の2024年の目標82,200人を達成できていない状況である。

執行部からは、合同移住フェアについて、なとりスーパーキッズ育成事業について、及び各種補助金について事業内容や進捗状況、また、今後の課題などの説明を受け、状況等を確認した。

委員からは「移住を促進するためにも、本市の知名度を上げること」「なとりスーパーキッズ育成事業について、練習会場への移動費や会場使用料を補助すべき」などの意見があった。

なとりスーパーキッズ育成事業については、当初予定した事業内容から変更となったこと。

各種補助金については、若者定着奨学金返還支援事業補助金の申請が想定より少ない状況ではあるが、なとりマイホーム応援事業補助金、新婚世帯等マイホーム応援事業補助金は申請件数が増加しており、移住・定住の促進に一定の成果が得られていることから調査を終了することとした。

(4) 自治会振興

本市では、行政だけでなく多様な主体と協働しながら共にまちを創り、持続可能なまちとして未来につなげられるよう、市民と共に考え、寄り添い、市民本位のまちづくりがなされる環境づくりを推進している。また町内会や自治会など地域団体に対し、各種事業に対し補助金を交付しているが、目的別であり地域の実情に応じた自由度のある補助金を求める声もある。

委員会では、愛知県知多市を視察し、地域担当職員制度については、導入に至る経緯や事業内容及び課題などを、地域コミュニティについては、交付金の概要や使途、課題などの調査を実施した。地域担当職員制度は、10小学校区を単位に設立されたコミュニティーに各2名の職員を配置するもので、その役割はコミュニティーと行政の橋渡し役を行う、地域のまちづくりについて共に考え、支援するというものであった。

地域コミュニティについては、これまで一般事業補助金と特定事業補助金を交付してきたが、その使い道、金額が市によって決められていた。これは本市も同様である。しかし、「今年是这样した事業に力を入れたい」「新たに地域課題を解決するための新規事業に取り組みたい」といったニーズに応えることができない。そこで平成20年度からは、これまでのコミュニティ事業補助金からコミュニティ事業

交付金へと見直しを行い、どの事業にいくら使うのか、使い道やお金の配分を自由に決められるようにした。

本市では、公民館に市の職員が配置されていることから地域における各種事業の窓口業務を行っている。今後公民館をコミュニティセンターに転換する場合においては、地域担当職員制度を導入する必要があるのではないか。

コミュニティ事業交付金については、お金の使い道について地域の実情に合わせ自由に使えるようになるというメリットがあるが、その分地域での話し合いや合意形成が重要となる。地域の熟度が高まることが前提となることから、調査を終了することとした。

(5) 消防団の活性化

平成 25 年 12 月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、国及び地方公共団体は消防団への加入促進、団員の処遇改善、装備充実、団員の教育訓練の充実等に関して必要な措置を講ずることとされたことを受け、本市では、令和 6 年度から令和 8 年度までを計画期間とした「名取市消防団活性化計画」を策定した。

執行部からは、消防団員確保の方策について、消防団再編の考え方について、機能別団員について、及び消防団への応援の取組について現状と今後の課題などの説明を受け、状況等を確認した。

委員からは「消防団活性化計画と負担軽減策との間でギャップがあるのではないか」「みやぎ消防団応援プロジェクトにおける市内の応援事業者が少ない。市独自で事業所に協力を求めるべき」などの意見があった。

令和 6 年度が消防団活性化計画の初年度であること、消防団組織再編について具体性がまだ見えていないこと、令和 7 年度に消防団 PR 動画の作成に取り組むことから継続して調査を行うこととした。

(6) 投票率の向上

本市では、令和6年1月に名取市議会議員一般選挙が執行されたが投票率が35.55%と過去最低の投票率であった。平成16年の市議会議員選挙では59%であり、この20年間で約24ポイントも下がったことになる。

執行部からは、投票率向上に向けた取組や期日前投票について説明を受け、状況等を確認した。また、管外行政調査及び研修では愛知県蒲郡市を視察し、選挙手帳・投票済証について、及び期日前投票所における各種取組について、調査を実施した。

委員からは「コミュニティプラザの期日前投票所について開設日数や投票できる時間を増やすべき」「動画配信やSNSを活用すべき」などの意見があった。

以上のことから、本市でも投票率向上のため別紙のとおり政策提言する。

4 委員会における調査報告のまとめ

令和6年度より常任委員会の活性化と実効性のある政策提言を行うことを目的に年間活動計画を策定し調査を実施してきた。そのうち(1)地域公共交通、(2)DX推進、(3)移住・定住の促進、(4)自治会振興については調査を終了することとした。

(5)消防団の活性化については継続調査を行うこととし、(6)投票率の向上については、投票率向上に向けた取組について政策提言書を作成し提出することとした。

総務消防常任委員会

委員長 菊地 忍

副委員長 二階堂 充

委員 寺嶋 雅子

委員 大久保主計

委員 吉田 良

委員 郷内 良治

委員 大泉 徳子